

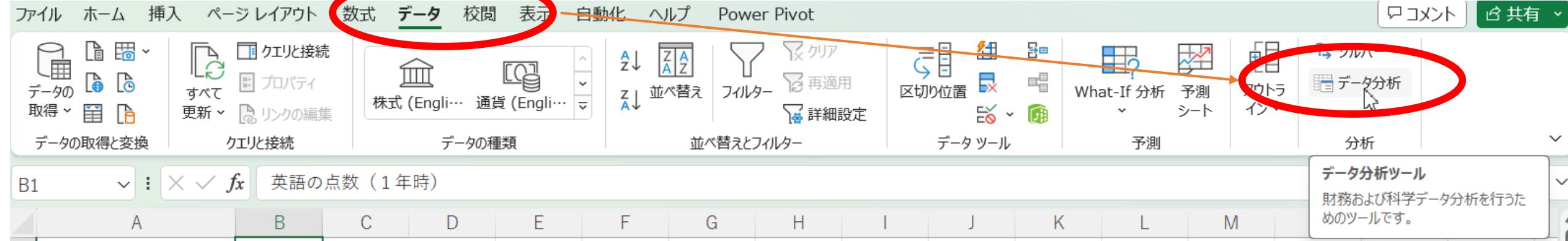
Excel解説8.1 分析ツールによる 平均の差の検定（等分散）

データファイル 英語の点数50

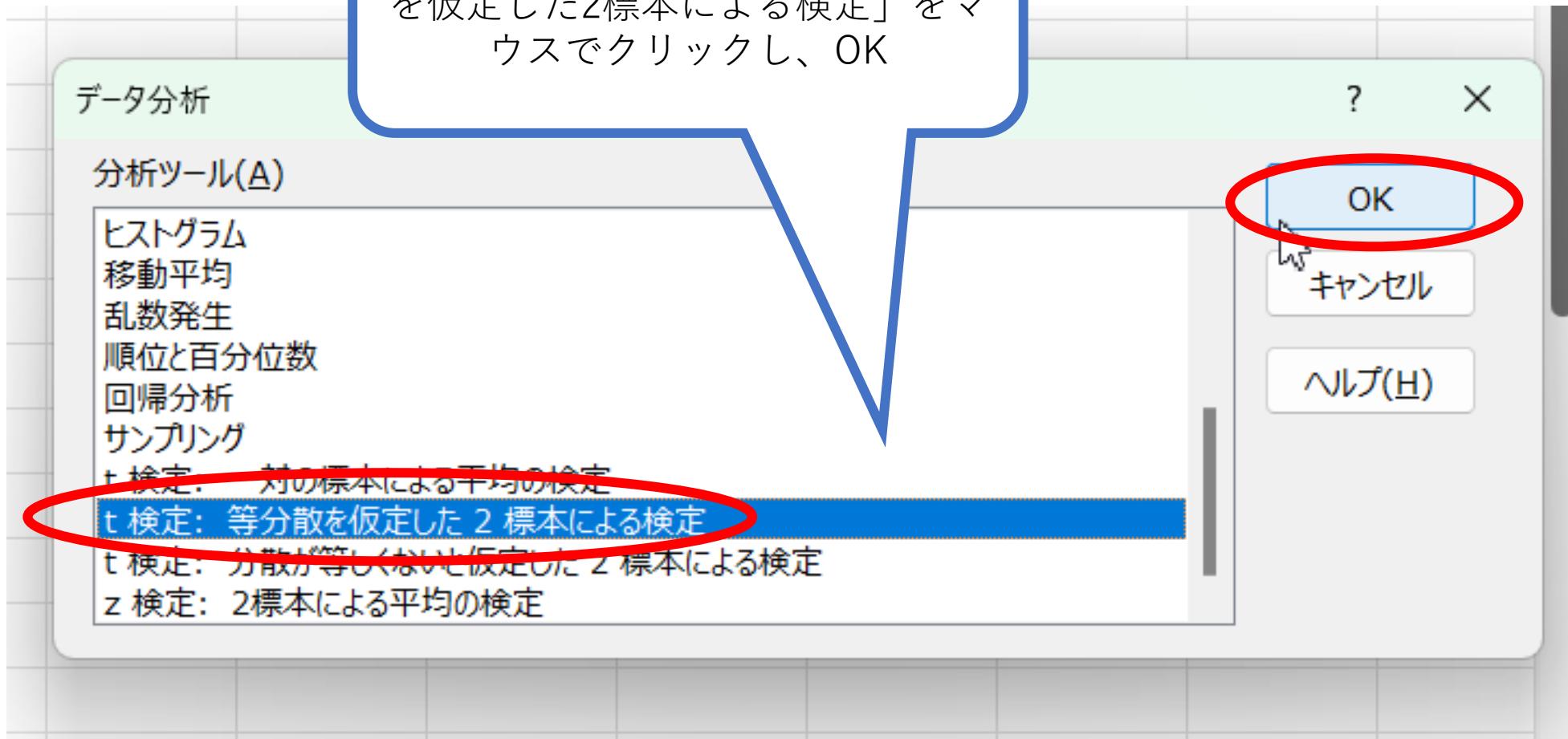
A	B	C	D	E	F	G
1 英語の点数（入学時）	英語の点数（1年時）					
2	26	39				
3	19	26				
4	28	42				
5	44	42				
6	22	32				
7	30	46				
8	20	36				
9	40	48				
10	35	49				
11	21	28				
12	30	42				
13	48	47				
14	37	44				
15	37	40				
16	30	32				
17	34	45				
18	15	27				
19	24	42				
20	37	42				
21	29	41				
...				



データを開く



下のほうにある、「t検定：等分散を仮定した2標本による検定」をマウスでクリックし、OK



A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1 英語の点数 (入学時)	英語の点数 (1年時)								
2 26	39								
3 19	26								
4 28	42								
5 44	42								
6 22	32								
7 30	46								
8 20	36								
9 40	48								
10 35	49								
11 21	28								
12 20	40								

t 検定: 等分散を仮定した 2 標本による検定

\$B\$1:\$B\$51

?

×

□

マウスで1年時の点数を
ドラッグして右端をクリック

t 検定: 等分散を仮定した 2 標本による検定

?

×

入力元

変数 1 の入力範囲(1):

\$B\$1:\$B\$51



OK

変数 2 の入力範囲(2):

0



キャンセル

仮説平均との差異(Y):

0

ヘルプ(H)

ラベル(L)

$\alpha(A): 0.05$

出力オプション

出力先(O):

新規ワークシート(P):

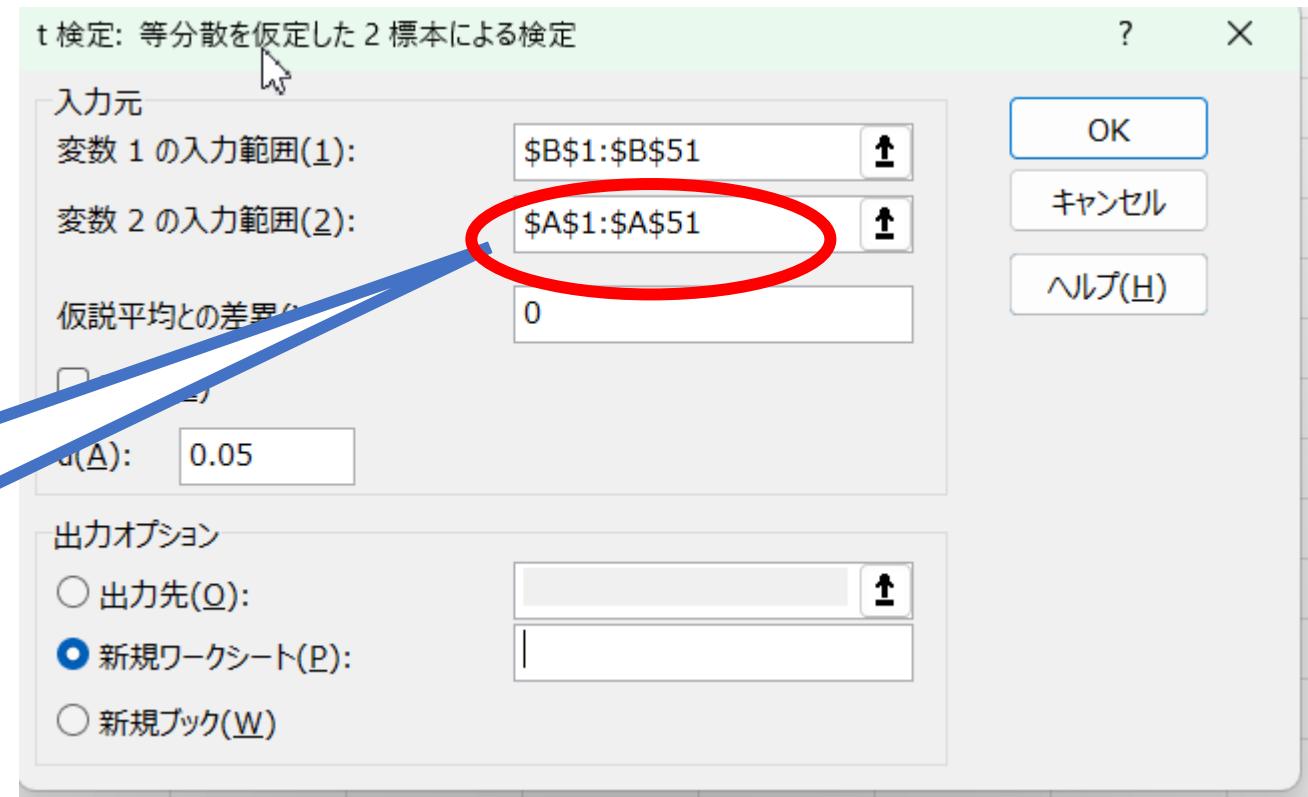


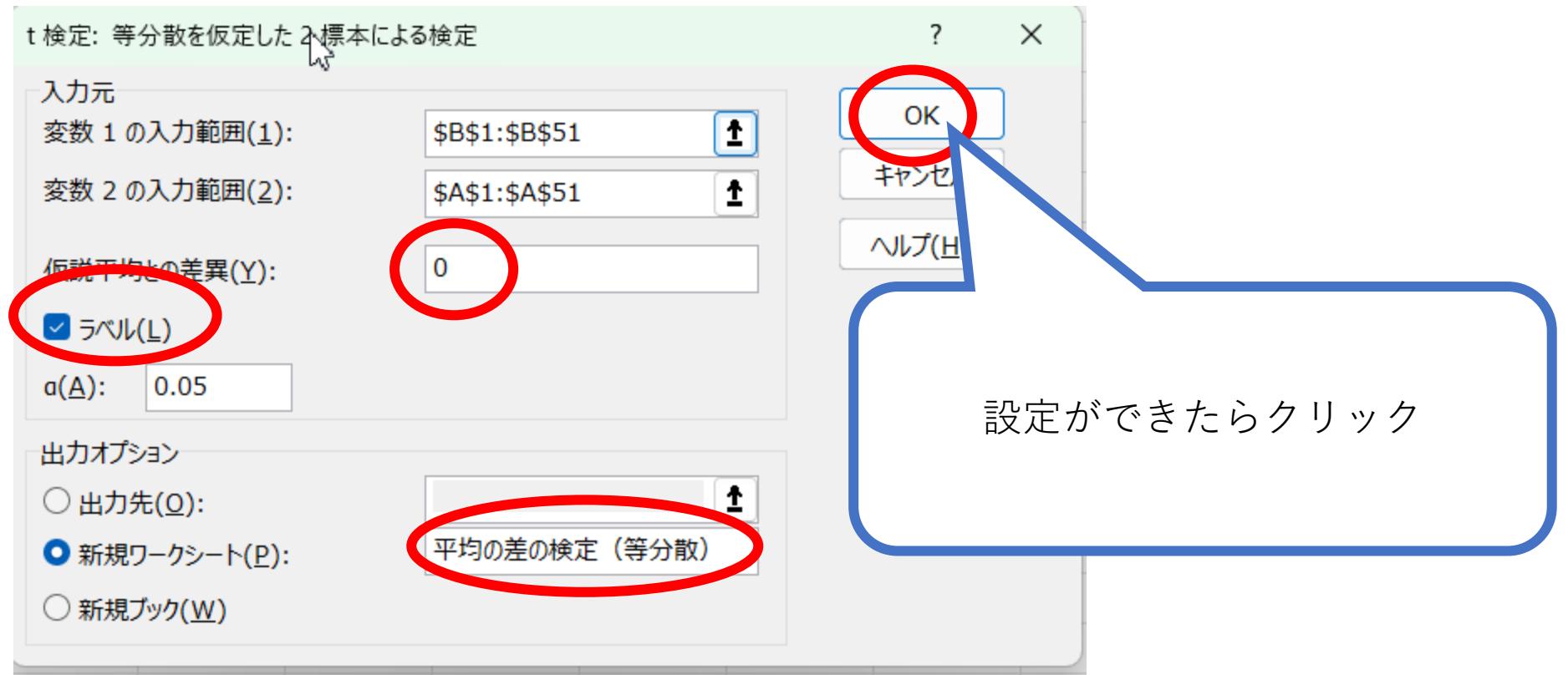
新規ワークシート(P):

新規ブック(W):

確認

同様に、入学時の英語の点数を入力





	A	B	C	D
1	t-検定: 等分散を仮定した2標本による検定			
2				
3		英語の点数 (1年時)	英語の点数 (入学時)	
4	平均	41	31.84	
5	分散	58.32653061	79.07591837	
6	観測数	50	50	
7	プールされた分散	68.70122449		
8	仮説平均との差異	0		
9	自由度	98		
10	t	5.525648299		
11	P(T<=t) 片側	1.35433E-07		
12	t 境界値 片側	1.660551217		
13	P(T<=t) 両側	2.70865E-07		
14	t 境界値 両側	1.984467455		
15				